

施策 5 環境意識を高めます

1 環境教育の推進と環境意識の向上

市民の環境意識を高め、自ら考え、自ら行動することができる人を育成するため、出前講座や体験型講座を開催するとともに、子どもたちへの環境教育や環境情報の発信などに取り組んでいます。

◆各指標の推進状況

指標名	①環境学習をしている人の割合					
指標の見方	環境に関するアンケートにおいて、環境学習をしていると回答した人の割合					
基準	43.8% (令和3年度)			目標	50% (令和9年度)	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	41.8%					
今後の対応	イベントや講座など、環境について学ぶ機会を提供するとともに、多様な手段を活用して環境情報の発信を行い、市民の意識啓発を図る。					

・環境学習をしている人の割合（内訳・推移）

＜環境に関するアンケート＞

Q. 環境学習（環境教育）をしていますか。

回答 (市内在住者)	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	2回		3回		4回	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	75人	16.0%	70人	14.6%	50人	14.3%
ときどきしている	130人	27.8%	123人	25.7%	96人	27.5%
ほとんどしていない	90人	19.2%	103人	21.5%	137人	39.3%
全くしていない	173人	37.0%	182人	38.1%	66人	18.9%
合計	468人	—	478人	—	349人	—

指標名	②出前講座の開催回数					
指標の見方	環境に関する出前講座の開催回数					
基準	206回 (令和3年度)			目標	増加 (令和9年度)	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	194回					
今後の対応	市民のニーズに即した多様なテーマで講座の充実を図るとともに、活用についての周知啓発に努める。					

・ 出前講座※の開催回数（内訳・推移） ※環境部が実施する環境教育の講座

分野	講座名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地球温暖化	省エネ講座	7回	12回	10回
	地球温暖化と私たちの暮らし	5回	6回	8回
	環境マネジメントと環境経営	3回	3回	3回
	メガソーラー見学	3回	1回	2回
ごみ減量 資源化	ごみ減量・資源化講座	9回	5回	8回
	雑がみ講座	11回	18回	10回
	ダンボールコンポスト講座（導入講座）	21回	17回	15回
	ダンボールコンポスト講座（アフター講座）	0回	4回	3回
	食品ロス講座	1回	0回	0回
	3Rクッキング講座	0回	1回	0回
	プラスチック製容器包装出前講座	121回	55回	25回
	パッカー車実演	0回	0回	7回
	リサイクルセンター見学	0回	68回	31回
東部クリーンセンターと関連施設見学	5回	16回	46回	
自然環境	岐阜市の水環境	3回	2回	1回
	長良川ってどんな川？ 他	7回	10回	11回
	水生生物調査（カワゲラウオッチング）	10回	16回	14回
合計		206回	234回	194回

指標名	③子どもの環境意識					
指標の見方	アンケート調査において、環境学習等を通して、環境意識が高まったと答えた子どもの割合					
基準	78.2%（令和4年度）		目標	増加（令和9年度）		
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	75.0%					
今後の対応	子どもたちが主体的に学び、行動することができるよう、体験学習等を織り交ぜ、学校での環境教育の充実に取り組む。					

・ 子どもの環境意識（内訳・推移）

<アンケート>

Q.「総合的な学習の時間」で、環境について学ぶ前と後では、環境を守る行動に変化がありましたか。

（前年度に総合的な環境教育を実施した市内小中学校の児童生徒を対象にアンケートを実施）

回答／年度	令和4年度		令和5年度	
	人数	割合	人数	割合
学ぶ前から行動していた	94人	16.7%	113人	20.8%
学んでから意識して行動するようになった	235人	41.7%	255人	46.9%
学んでからときどき行動するようになった	206人	36.5%	153人	28.1%
行動していない	29人	5.1%	23人	4.2%
合計	564人	—	544人	—

指標名	④こどもエコクラブへの参加団体数						
指標の見方	市内を拠点として活動するこどもエコクラブの団体数						
基準	33 団体 (令和 3 年度)			目標	33 団体 (令和 9 年度)		
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成	
	24 団体						
今後の対応	市内のこどもエコクラブの発足式や交流会のほか、活動成果を発表するパネル展を開催し、広く活動を紹介するとともに、参加の促進を図る。						

・こどもエコクラブ※への参加団体数（内訳・推移）

※環境省が平成 7 年に開始した、幼児(3 歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ

区分/年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市内のこどもエコクラブ団体数	33 団体	29 団体	24 団体

<こどもエコクラブ一覧(令和 5 年度)>

No.	クラブ名	No.	クラブ名
1	柳津イオンチアーズクラブ	13	西郷小こどもエコクラブ
2	しぜん、生きものクラブ天神川	14	芥見東小学校 3 年生
3	長森南中学校 1 年 1 組	15	柳津小学校 5 年生
4	長森南中学校 1 年 2 組	16	鏡島小学校 4 年生
5	長森南中学校 1 年 3 組	17	岐阜高等学校自然科学部生物班①
6	長森南中学校 1 年 4 組	18	岐阜高等学校自然科学部生物班②
7	タオのeeco (タオのいーこ)	19	方県小 5 年
8	東長良中学校 科学部	20	岩野田北小学校 4 年エコ委員会
9	MMP 1 (岐阜市立三輪中学校 1 年 1 組)	21	岐阜北高等学校 科学部 (自然科学班)
10	MMP 2 (岐阜市立三輪中学校 1 年 2 組)	22	イオンチアーズクラブ岐阜
11	MMP 3 (岐阜市立三輪中学校 1 年 3 組)	23	且格小学校 5 年生
12	MMP 4 (岐阜市立三輪中学校 1 年 4 組)	24	七郷小学校 4 年生

指標名	⑤体験型環境教育の実施校数						
指標の見方	体験型環境教育を実施した学校数						
基準	14 校 (令和 3 年度)			目標	増加 (令和 9 年度)		
推進状況	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	達成	
	35 校						
今後の対応	多様な体験学習の提供と、環境教育プログラムガイド等の活用について周知啓発に努める。						

・体験型環境教育の実施校数（市内小中学校）（内訳・推移）

分野(内容)/年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
複数講座 (総合的な環境教育等)	8 校	13 校	12 校
地球環境の保全 (省エネ講座等)	1 校	1 校	0 校
ごみの減量・資源化 (施設見学、パッカー車実演等)	1 校	9 校	20 校
自然環境の保全 (水環境体験講座等)	4 校	2 校	3 校
合計	14 校	25 校	35 校

◆関連する主な事業等

・総合的な環境教育

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育むことを目指し、「“岐阜市”の豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくために何ができるのか」をテーマに、市内小中学校と協力して、出前講座等を組み合わせた総合的な環境教育を進めています。

・「岐阜市環境教育プログラムガイド」の作成

子どもの頃から環境について学習し、意識を高め、環境に配慮した行動を実践していくため、小中学校の授業で活用できる環境に関する出前講座などのメニューをまとめたガイドブックを作成しています。毎年度内容を更新し、ホームページで公開しているほか、市内小中学校へ配信しています。

・「社会科副読本 ごみとわたしたち」の作成

環境教育の一環として、昭和 59 年度から岐阜市のごみ処理の概要をまとめた社会科副読本を作成しています。毎年度内容を更新し、市内小学 4 年生を対象に配布しており、令和 4 年度からは、児童のタブレット端末へデジタルファイルを配信しています。

・「子ども環境白書」の作成

「岐阜市環境白書」を基に、市内小学 4 年生から 6 年生向けに、自然や地球温暖化、ごみのことなど、身近な環境について分かりやすくまとめています。毎年度内容を更新し、ホームページで公開しているほか、児童のタブレット端末へ配信しています。

・岐阜市環境活動顕彰

「岐阜市環境基本条例」に基づき、環境の保全及び創出のための活動に関し、顕著な功績があった市民や事業者等を顕彰しています。対象分野は環境保全活動、ごみ減量活動、環境教育活動、研究開発活動の 4 分野で、継続的に活動を実施する個人や団体等に対し、毎年度顕彰を行っています。

<被顕彰者(令和 5 年度)>

個人・団体等	活動分野	活動内容
岐阜市立 長良小学校	環境教育活動 (学校などでの 環境教育)	同小学校の児童たちの環境意識の向上などのため、長良川等の河川と海洋のつながりを体系的に学べるようにカリキュラムを再構築し、全学年で環境学習や体験活動に取り組まれています。

2 市民協働による環境美化の推進

「岐阜市まちを美しくする条例」に基づき、「環境美化の日」として定める5月30日と11月の第3日曜日に、ごみゼロ運動とクリーンシティぎふの日運動をそれぞれ実施し、市民や企業等と連携して環境美化活動に取り組んでいるほか、ごみのポイ捨てや路上喫煙を防止する啓発を行っています。

◆各指標の推進状況

指標名	①ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数					
指標の見方	岐阜市都市美化推進連絡協議会から報告された参加人数					
基準	41,883人（令和3年度）			目標	42,000人（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	46,180人					
今後の対応	市民や企業等と連携し、環境美化活動を推進するとともに、周知啓発に努める。					

・ごみゼロ運動・クリーンシティぎふの日運動における参加人数（内訳）

各運動の参加者数／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ごみゼロ運動	17,095人	22,009人	23,556人
クリーンシティぎふの日運動	24,788人	21,783人	22,624人
合計	41,883人	43,792人	46,180人

◆関連する主な事業等

・都市美化推進事業補助金

市民の手による美しく明るいまちづくりを実現するため、岐阜市都市美化推進連絡協議会の各支部（自治会連合会）が行う都市美化に係る活動に対し、補助金を交付しています。

・ポイ捨てごみ定点観測調査

市中心部の22区間において、年4回、ポイ捨てごみを拾い集め、区間ごとにごみの種類※に分けて集計する調査を行っています。

※ごみの種類は、たばこの吸い殻、たばこの箱・フィルム、ビン・カン・ペットボトル、紙くず、プラスチックくず、その他の6種類

<ポイ捨てごみの数>

区分／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ポイ捨てごみの総数	2,145個	2,106個	2,883個

・路上喫煙の規制

路上喫煙禁止区域では、路上喫煙防止指導員が区域内を巡回し、啓発指導及び過料徴収を行っています。また、啓発看板や路面標示等を整備するとともに、市内で行われる祭りなどのイベント等に合わせ、ポイ捨て防止の街頭啓発を行っています。

＜路上喫煙禁止区域(令和6年3月末現在)＞

指定区域	指定日	効力発生日
JR 岐阜駅周辺、長良橋通り、玉宮通り、柳ヶ瀬及び旧市役所(本庁舎跡・南庁舎跡)周辺	平成 20 年 8 月 22 日	平成 20 年 10 月 1 日 (平成 21 年 1 月 1 日から 過料徴収開始)
金華山の 10 の登山道、岐阜公園の一部、川原町界隈	平成 23 年 3 月 1 日	平成 23 年 9 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
みんなの森 ぎふメディアコスモス周辺	平成 27 年 2 月 12 日	平成 27 年 8 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
JR 岐阜駅東区域	平成 30 年 11 月 15 日	平成 31 年 3 月 1 日 (同日から過料徴収開始)
市役所新庁舎及びみんなの森 ぎふメディアコスモス敷地内	令和 3 年 3 月 2 日 (指定の解除)	(健康増進法による喫煙禁止の対象となるため、市役所新庁舎の開庁に合わせ、令和 3 年 5 月 6 日から禁止区域の指定を解除)

＜過料処分件数＞

区分/年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
過料処分件数	36 件	28 件	24 件

・路上喫煙率・吸殻ポイ捨て数調査

路上喫煙禁止区域を指定した効果を測るため、定期的に路上喫煙率と吸殻ポイ捨て数の調査を行っています。路上喫煙率は禁止区域内の 6 地点、吸殻ポイ捨て数は禁止区域内 17 区間を抽出して調査しています。

＜路上喫煙率・吸殻ポイ捨て数＞

区分/年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
路上喫煙率	0.25%	0.08%	0.37%
吸殻ポイ捨て数	685 個	687 個	861 個

トピックス

SNS アプリを活用した清掃活動

岐阜県では、河川等を通じて海に流出する、散乱ごみの抑制に取り組んでおり、ごみ拾い SNS「ピリカ」と連動し、企業や団体、個人による自主的な清掃活動の成果等を見える化するウェブページ「クリーンアップぎふ」※を開設しました。

令和 5 年度、重点モデル区域に指定された岐阜市では、AI を活用して長良川流域の散乱ごみの分布状況を見える化し、同ページに公開しました。

「ピリカ」は、投稿された国内外の清掃活動の様子も見るができます。アプリを活用し、問題意識を共有するとともに、楽しく清掃に取り組みましょう。

※岐阜県清掃活動ウェブページ「クリーンアップぎふ～海まで届け清流!～」(<https://gifu.pref.pirika.org>)

3 環境重点地区の設定

「岐阜市環境基本条例」に基づき、岐阜市環境基本計画において、①長良川区域、②金華山区域、③百々ヶ峰区域、④石田川流域、⑤伊自良川流域を環境重点地区として「生物多様性保全推進区域」に定め、市民や自然環境保全団体による保全活動の支援などを行っています。また、⑥中心市街地区域を環境重点地区の「ぎふ脱炭素化促進区域」に定め、環境負荷の少ない移動手段の促進を行っています。

◆各指標の推進状況

指標名	①生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数					
指標の見方	生物多様性保全推進区域内での保全活動を環境部が支援した回数					
基準	33回（令和3年度）			目標	増加（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	33回					
今後の対応	市民や自然環境保全活動団体による取り組みを推進・支援し、同区域の協働による保全を目指す。					

・生物多様性保全推進区域内での保全活動支援回数（内訳）

生物多様性保全推進区域／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
長良川区域	11回	10回	10回
金華山区域	20回	21回	23回
百々ヶ峰	2回	1回	0回
石田川流域	0回	0回	0回
伊自良川流域	0回	0回	0回
合計	33回	32回	33回

指標名	②中心市街地の歩行者・自転車通行量					
指標の見方	中心市街地の21地点（つかさのまち周辺、柳ヶ瀬、神田町・玉宮、岐阜駅周辺）における歩行者及び自転車の通行量					
基準	38,600人/日（令和3年度）			目標	45,700人/日（令和9年度）	
推進状況	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	達成
	40,996人/日					
今後の対応	都市機能を集約したコンパクトなまちを目指し、徒歩や自転車をはじめ、公共交通機関等の環境負荷の少ない移動手段の利用促進を図る。					

・中心市街地の歩行者・自転車通行量（推移）

区分／年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歩行者・自転車通行量 （休日と平日の平均）※	38,600人/日	39,759人/日	40,996人/日

※中心市街地21地点の通行量合計値。通行量の観測は平日・休日1日の10:00～19:00に実施

◆関連する主な事業等

・ヒメコウホネ特別保全地区維持管理

「岐阜市自然環境の保全に関する条例」に基づき、平成19年3月に、金華山のふもとに位置する達目洞のヒメコウホネ自生地を、自然環境保全地区（特別保全地区）に指定し、自然環境保全活動団体（達目洞自然の会）や自然環境保護監視員と連携して保全管理に努めています。

・国の重要文化的景観の選定

長良川や金華山の恵みを受け、昔ながらの生業・生活の営みが残る長良川中流域は、平成26年に国の重要文化的景観に選定され、文化財保護法に基づき、保護されています。

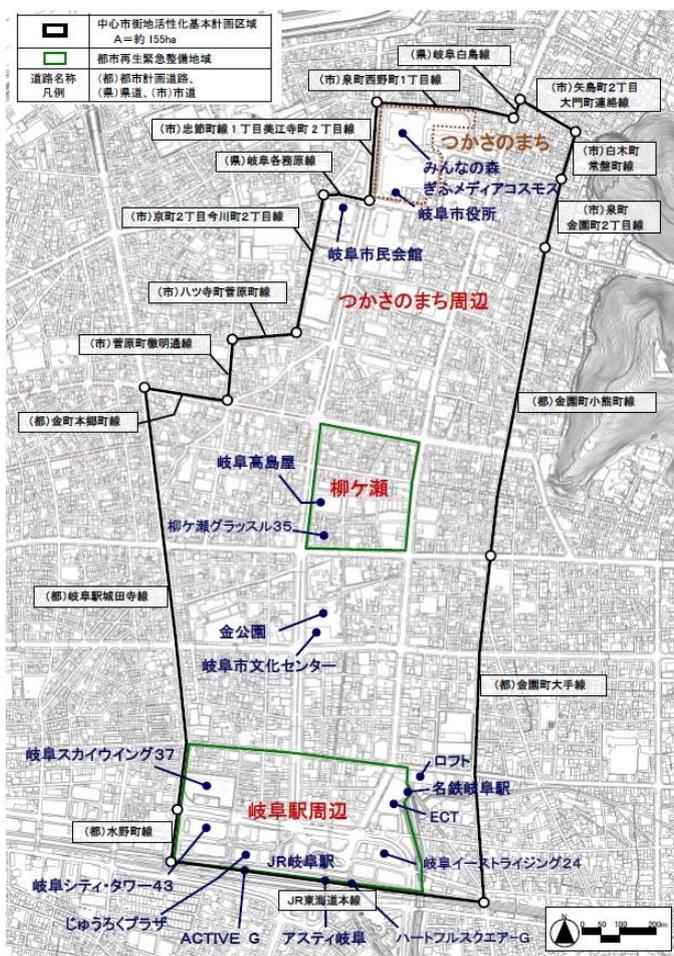
・コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ（岐阜市未来のまちづくり構想）

人口減少や高齢化が見込まれる中においても健康で快適な生活を確保するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方にに基づき、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進しています。

・「岐阜市中心市街地活性化基本計画」の推進

都市再生緊急整備地域に指定されている「岐阜駅北地域」「柳ヶ瀬通周辺地域」と、メディアコスモスと市役所新庁舎による新たな集客拠点を形成する「つかさのまち」を核とする区域を中心市街地と設定し、重点的に整備を進めています。

4期目の「岐阜市中心市街地活性化基本計画」に基づき、目指す中心市街地の都市像である「ここにしかない時間の過ごし方をつくり、日常的に訪れたいくなるまち」の実現のため「時間を消費したくなるような魅力づくり」と「選ばれるまちなか暮らし」を基本的な方針として、滞在時間の向上や来街者数の増加などの取り組みを進めています。



出典：（4期目）岐阜市中心市街地活性化基本計画